昭和59年1月1日　第308号

市章

広報えびな

発行・海老名市役所・海老名市国分155／編集・秘書広報課／電話・31－2111（代）／〒243－04

毎月1日・15日発行

世帯と人口

昭和58年12月1日

世帯	26,701世帯	（＋43）
人口	87,712人	（＋192）
男	45,028人	女 42,684人

清木綾子さん＝中央＝（国分寺台5丁目　15歳　市立大谷中学校3年）

清水カツ子さん（中野　68歳　農業）

小野　誠ちゃん（東柏ケ谷5丁目　5歳　市立柏ケ谷保育園）

岩崎　誠さん（17歳　県立中央農業高校2年）

広崎雅章さん（本郷　36歳　御太鼓師＝太鼓づくり＝）

1984年

高橋忠雄さん（上今泉4丁目　70歳）

渋谷睦子さん＝中央＝（国分　23歳　市立門沢橋小学校教諭）

宮沢章子さん（国分　10歳　市立今泉小学校5年）

柳田源次さん（浜田町　59歳　鉄工所経営）

碓井光枝さん（上今泉3丁目42歳　コンクリート製品製造業）

新年明けましておめでとうございます

今年は子（ね）年。ネズミという動物は一般的にはあまり良いイメージは持たれていませんが、人間がその生命を託す医薬品の開発などに実験動物として無数のネズミたちが命をささげていることは周知の事実です。

また、ネズミ年の人はマメによく働くといわれ、「コマネズミのように働いた」などという表現もあります。

上の写真にご登場願った十人のみなさんに、ネズミという名詞から連想するものを尋ねたところ、年輩者からは「チュウ、チュウ鳴く声が〝忠義〟の忠に聞こえる」、「働き者」などの答えがあり、また、子供や若い世代からは、「小回りがきく」、「足が速い」、「小さい」、「子供」などの言葉が返ってきました。

年輩の方がネズミの中に「おしん的刻苦精励」を見ているのに対し、若年層は現代のコンピューター文明の目指す「軽薄短小性」を見出しているように思えます。

目まぐるしく変化する現代にあって、このネズミに象徴される勤勉さ、早い頭脳の回転があれば、正に鬼に金棒というもの。

さて、今年はどんな年になるか。やはり上の写真に出ていただいた中学生以上の方に「今年の景気は?」と尋ねたところ、ほぼ全員が、「良くなって欲しいと思うし、その可能性はあるように思う」といった内容の答えが返ってきました。

いずれにせよ、健康で、ネズミのように地味ではあっても毎日マメに働いたり勉強することで今年をすばらしい一年にしたいものです。

（上の写真に、お忙しい中、ご協力いただいた方々に心から感謝いたします）

民生委員委嘱される

退任される8人の表彰も

十二月一日、市立総台福祉会館で市民生委員児童委員の退任式及び委嘱式が行われました。退任された方は、十年間務められた池田博さん（国分、76歳）ほか十九人、また委嘱された方は、槇田輝治さん（河原口、67歳）ほか八十六人です。

民生委員児童委員は、厚生大臣から委嘱され、社会奉仕の精神をもって担当地区内の生活に困っている方や児童、心身障害者、そしてお年寄りの福祉に関する相談や証明を行っています。

同委員の証明事務は次の通り。①無職の事実②扶養、非扶養の事実③生活困窮の事実④内縁関係の事実⑤世帯類型及び家族関係に関する事実⑥同一生計、または生計を維持している事実⑦異名同人である事実⑧児童の保育に関する事実。

なお、同委員は、十二月一日付で委嘱され、任期は三年。問い合わせは、福祉課。

10年以上務め表彰

市民生委員児童委員退任式で

十二月一日、市立総台福祉会館で行われた市民生委員児童委員退任式で、十年以上同委員を務めて退職される八人の方が、市の表彰条例に基づき表彰されました。

表彰は一般表彰で、被表彰者は次の通り。（敬称略・順不同）

池田博（国分、76歳）、大島キミ子（中新田、66歳）、小川禧美子（国分寺台一丁目、69歳）、各務ツネヨ（東柏ケ谷三丁目、71歳）、斉藤せき（東柏ケ谷四丁目、66歳）、斉藤政子（東柏ケ谷一丁目、67歳）、三井富美子（国分寺台五丁目、58歳）、村尾祐乃（国分、66歳）。

民生委員児童委員退任式で表彰

PTA活動で表彰

鈴木勇さん（杉久保）ら

日本PTA全国協議会などから

日ごろの地道なPTA活動が認められ、鈴木勇さん（杉久保、44歳＝現有馬高校PTA会長）、森川紀子さん（国分寺台一丁目、43歳＝現有馬高校PTA副会長）、有鹿小学校PTA（加藤文孝会長）、柏ケ谷小学校PTA（三浦文夫会長）のみなさんがこのほど表彰されました。

鈴木さんは、大谷中学校PTA会長、有馬高校PTA会長などを務め、永年PTA活動をされてきました。この功績が認められ、日本PTA全国協議会（岩橋延直会長）と県PTA協議会（井一信義会長）から表彰されました。

森川さんは、大谷中学校PTA副会長、有馬高校PTA副会長などを務め、永年PTA活動をされてきました。この功績が認められ、県PTA協議会から表彰されました。

また、有鹿小学校PTAと柏ケ谷小学校PTAは、文化・広報活動、学校の環境整備、交通安全などを活発に行ったことで、有鹿小学校PTAは県教育委員会から、柏ケ谷小学校PTAは県PTA協議会からそれぞれ表彰されました。なお、有鹿小学校PTAは、昭和四十九年に同じ理由で県PTA協議会から表彰されています。

新春第5回海老名寄席

（特選名人会）

江戸家猫八　片岡鶴太郎
林家木久蔵　三遊亭楽太郎

とき・1月22日（日）午後2時開演／ところ・市文化会館ホール／入場料・A席1500円、B席1000円（全席指定）／好評前売り中、電話予約もできます。／主催・市文化会館事業協会（☎32・3231）。

フレイ・ガイド

工業統計調査
ただ今実施中

市長随想

税金と人件費

新年明けましておめでとうございます。

本紙六面で市職員の給与を公表しています。みなさんからいただく税金を元に行財政運営、まちづくりを行っていますが、いかに経費を節約して行うかということが重要で、これが昨今話題になっている行革の精神です。

当然のことですが、海老名市でも景気の良しわるしに関係なく、税金を大切に使う努力を続けており、その成果も上がりつつあります。

市職員の給与は、収益を基本とする企業と違って、市民サービスをどこまでやれるか、ということで左右される面もありますので、その尺度としてラスパイレス指数（国家公務員給与との比較）、職員の働き度、経費節約度などの見方があります。

ラスパイレス指数については県内市町村が全般的に下げる努力をしておりますし、問題の退職金についても、当市は退職手当組合に入っていますので、最近いろいろ言われているようなことはありません。

次に、大切な働き度ですが、これは税金から人件費に使われる金額が県下政令指定都市を除く市部でいちばん低くいちばん働いていることになります。

また、経費節約度ですが、職員数が少なくても残業が多くなり、時間外手当を多く出しては何にもなりませんが、この時間外手当も県下政令指定都市を除く市部で二番目に少なく、職員も一人使いの荒い市長だ！などと冗談を言いながら頑張っております。

もちろん、これで良いということではなく、少ない人員でさらに市民サービス向上のために努力してまいります。

当市は未完成都市であり、現在の社会経済情勢の中で重点主義、最大公約数的に行政を進めています。みなさんが、あらゆることを市に要望されることはよくわかりますが、人件費は市民サービスとの裏腹の面もあります。私は折にふれ、行政の受持範囲とみなさん方の手で行っていただくべきことについて申し上げていますが、税金を有効に使い、まちづくりを進めるためぜひご理解と、協力をお願いいたします。　市長　左藤　究

情報コーナー

市役所　ところ　〒243-04 海老名市国分1155　もしもし　31・2111(代)

――7面から続く――

生活用品交換情報

＜譲ります＞和ダンス、美容自転車、小型冷蔵庫、おむつ乾燥機、マットレス、クリーンヒーター（天然ガス用）、電気オルガン、クーラー、おまる、ベビーバス、木製子供いす、反射石油ストーブガード、温風ヒーター、ロボットのおもちゃ。

＜求めます＞卓球台、子供用自転車、大人用自転車、サイクリング車、双子用ベビーカー、ベビーバギー、ママコート、ソファー、楽器各種、琴。

▶登録期間は3か月間。交換はマナーを守り登録者同志直接に。紹介を受けた後は、交渉結果を必ず商工課まで報告を。

▶情報・問い合わせは、商工課まで。

市役所から

◆生け垣を作る方に奨励金

市では、緑化と防災の両面から、生け垣を作る方に奨励金を交付しています。これから生け垣を作ろうとしている方は、ぜひこの制度をご利用ください。　▷対象となる方＝市内に住宅用地を所有または使用している方でこれから生け垣を作る方　▷設置の基準＝①幅が4㍍以上の公道などに面した所に5㍍以上の生け垣を作る②樹木は1㍍間に3本以上とし、地上部が90㌢㍍以上③市長が推奨する樹木を植える④植栽の土台が宅地から65㌢㍍以下▷奨励金＝生け垣の長さ1㍍について1,000円。最高限度額2万円　▷申請＝生け垣を作る前に、申請書を提出　▷問い合わせ＝生活環境課。

◆物件の入札参加

昭和59・60年度に市が発注する物件（工事・建築資材を除く）の入札参加資格審査申請書の受付をします。

▷とき・ところ＝2月1日～29日、財政課　▷申請書の配布＝1月17日（火）から　▷問い合わせ＝財政課。

◆59年度建設工事の入札参加

昭和59年度の市の建設工事など（建築資材を含む）の入札参加資格審査申請書の受付をします。

▷とき・ところ＝2月1日～29日、建設管理課　▷提出要領の配布＝1月17日（火）から　▷問い合わせ＝建設管理課。

◆59年度学校給食用物資納入業者の募集

2月1日～29日の間の日曜・祝日を除く毎日午前8時半～午後4時（土曜は午前11時まで）、市学校給食センター　▷申し込み＝事前にセンターにある書類をそろえ同所へ　▷問い合わせ＝市学校給食センター（☎31・2150）。

◆償却資産の申告は早めに

昭和59年度償却資産の申告は、1月31日までですが、末日は窓口が混雑しますので早めに申告をお願いします。

58年中に事業を始めた方などで、該当資産がない場合でも必ず申告書を提出してください。

▷問い合わせ＝資産税課。

◆お返しの年賀状はお早めに

お返しの年賀状は、なるべく3日ごろまでに束ねてお出しください。

また、この時期に住所録を整理しておきますと大変便利です。

海老名郵便局

◆母子家庭に進学・就職資金などを援助

福祉事務所では、今春、高校以上に進学または就職するお子さんがいる母子家庭に各種資金（右表）の貸付をします。申請の受付は、台格または採用決定前にしますので、早めに申請してください。

▷申し込み＝2月中旬までに市福祉事務所母子相談員。

貸付限度額一覧表

資金名			貸付限度額	償還期間
修学資金	高校	公立	月額10,000円	卒業後10年以内(6月・12月の年2回)無利子
		私立	21,000円	
	高専	公立	11,000円	
		私立	21,000円	
	短大	公立	20,000円	
		私立	28,000円	
	大学	公立	20,000円	
		私立	29,000円	
	専修	高等課程 公立	10,000円	
		高等課程 私立	21,000円	
		専門課程 公立	20,000円	
		専門課程 私立	28,000円	
		その他	17,000円	
修業資金	各種学校		月額17,000円	卒業後5年以内
就学支度資金	高校・高専・専修（高等）		61,000円	卒業後10年以内無利子
	大学・短大・専修（専門）		80,000円	
就職支度資金			95,000円	5年以内・利子年3%

※修業資金は、厚生大臣の定める修業施設の場合は無利子、ほかは利子年3%。
据置期間は、就職支度資金は1年、その他は半年。

明日の海老名のために

財政特集

57年度決算認定される

歳入181億円・歳出171億円

昭和五十七年度の決算が十二月の定例議会で認定されました。本決算の特徴は、国・県の緊縮型財政が行われている中で、また流動的な景気の動向など、地方財政を取り巻く厳しい状況のもとで市の諸全財政に努めるとともに、市民福祉の充実、都市基盤の整備などの積極的な財政運営に努力したことがあげられます。

表「昭和五十七年度決算」に見られるように、一般会計と特別会計を合わせた歳入決算総額は、百八十一億四千六百十一万円で、前年度に比べ、十億八千七百二十七万円（対前年度伸び率六・四%）増加しました。

増加額の内訳は、一般会計八億三千五百六十三万円（対前年度伸び率六・〇%）、国民健康保険事業特別会計一億三千八百七十五万円（同伸び率八・三%）、農業共済事業特別会計四千五百二十七万円（同伸び率一三・七%）、老人保健特別会計八千三十二万円（新設）です。

また、下水道事業特別会計は一千二百七十万円（同伸び率マイナス〇・九%）の減少ですが、これは市債の減少によるものです。

一方、歳出決算総額は、百七十一億二百七十五万円で、前年度に比べ、七億一千三百五十万円（対前年度伸び率四・四%）増加しました。

増加額の内訳は、一般会計五億一千百九十五万円（対前年度伸び率三・八%）、国民健康保険事業特別会計千百六万円（同伸び率四・四%）、農業共済事業特別会計四千六百四十二万円（同伸び率一七八・〇%）、老人保健特別会計八千九百三十六万円（新設）です。

下水道事業特別会計は、五百二十九万円（同伸び率マイナス〇・四%）の減少ですが、これは相模川流域下水道事業負担金の減少によるものです。

以上のように農業共済事業特別会計、老人保健特別会計の対前年度伸び率が他の会計より大きくなっていますが、これは台風の影響で水稲などが被害を受けたため、歳入で保険金、歳出で共済金が増えたためです。また、老人保健特別会計の増加は、昭和五十八年二月の老人保健法施行に伴う老人保健特別会計の新設によるものです。……関連記事は4・5・6面に……（この財政特集号は、地方自治法などの規定に基づき公表するものです）

昭和57年度決算

（単位：万円）

会計名		歳入決算額	対前年度伸び率	歳出決算額	対前年度伸び率
一般会計		1,483,340	6.0%	1,392,815	3.8%
特別会計	国民健康保険事業	181,594	8.3	168,594	4.4
	農業共済事業	7,990	130.7	7,250	178.0
	下水道事業	133,655	−0.9	132,680	−0.4
	老人保健	8,032	新設	8,936	新設
計		1,814,611	6.4	1,710,275	4.4

性質別に見た一般会計歳出決算額と市民1人当たりの額

□＝57年度　▨＝56年度

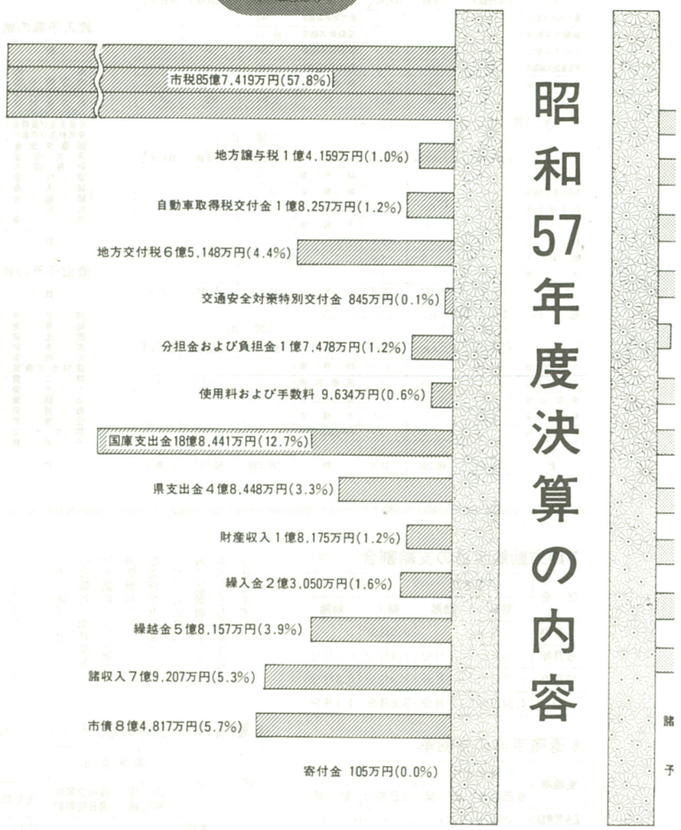
区分	決算額	市民1人当たりの額
計	57年度 139億2,815万円 56年度 134億1,620万円	16万2,327円 16万993円
普通建設事業費（学校や道路の建設など）	49億6,627万円(35.7%) 50億1,461万円(37.4%)	57,880円 60,175円
人件費（職員の給料など）	30億72万円(21.5%) 28億6,998万円(21.4%)	34,972円 34,439円
物件費（施設の維持管理費など）	12億9,660万円(9.3%) 12億3,680万円(9.2%)	15,111円 14,841円
補助費等（高座清掃施設組合負担金など）	12億2,996万円(8.8%) 11億9,360万円(8.9%)	14,335円 14,323円
扶助費（生活保護費など）	10億151万円(7.2%) 9億2,547万円(6.9%)	11,672円 11,106円
公債費（借入金の返済など）	9億8,569万円(7.1%) 7億6,940万円(5.8%)	11,488円 9,233円
繰出金（特別会計への繰出金など）	7億61万円(5.0%) 6億6,213万円(4.9%)	8,165円 7,945円
その他（積立金・貸付金など）	7億4,679万円(5.4%) 7億4,421万円(5.5%)	8,704円 8,931円

わがまちの経営状況

昭和57年度決算の内容

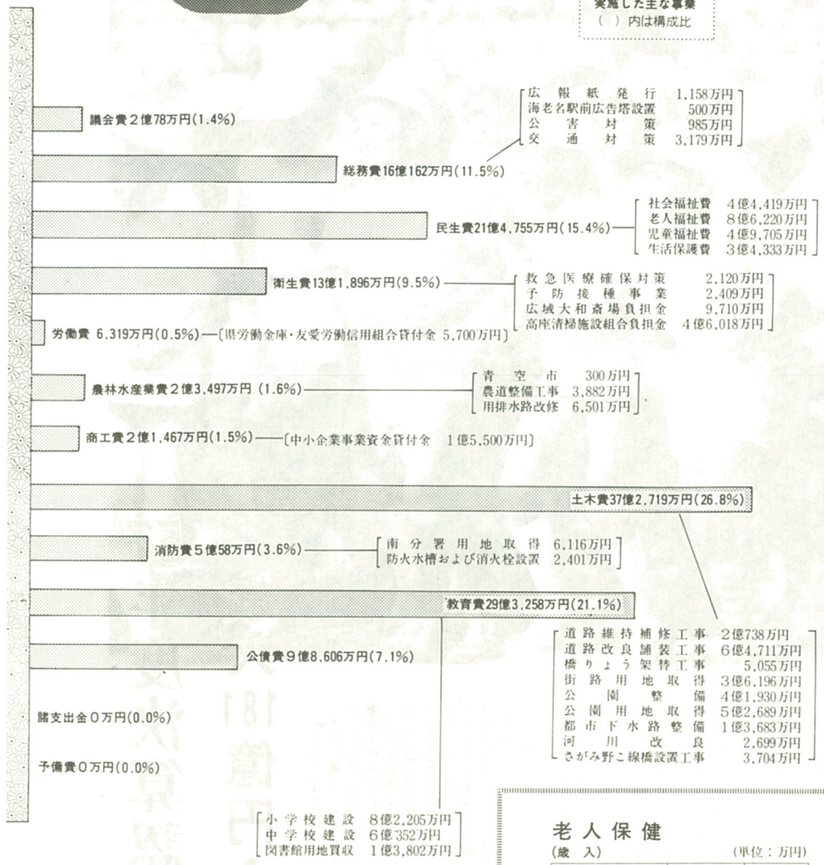
歳入

148億3,340万円
(一般会計)



歳出

139億2,815万円
(一般会計)



一般会計

◈歳入決算

歳入の柱となる市税は、各税目とも順調な伸びをみせ、前年度に比べ十三億六千九百三十五万円（伸び率一九・〇%）増加し、八十五億七千四百十九万円になりました。

その他に、地方交付税は決められた方法により算出した結果、五億五千七百六十一万円（伸び率マイナス四六・一%）減り、六億五千百十八万円になりました。

一方、国庫支出金は二億六千九百六十万円（伸び率一六・七%）増加し、十八億八千四百四十一万円になりました。これは海老名運動公園整備や、今泉小学校・大谷小学校の校舎を市学校建設公社から買収したことと、杉本小学校屋内運動場の新築など国庫補助金の対象になる事業が前年度より多かったためです。

市債は六億五千七百九十三万円（伸び率マイナス四三・七%）減で、八億四千八百十七万円です。これは、五十七年度は学校用地購入などの大きな用地取得がなかったためです。

◈歳出決算

一般会計の歳出決算を目的別にみると次のようになります。

総務費は前年度と比べ、七千二百二十六万円（伸び率四・七%）増加し、十六億百六十二万円になりました。これは、市役所分庁舎の増築工事、財政調整基金などの基金積立金が増加したためです。

民生費は、市立総合福祉会館の建設（四億四千七百十二万円）や老人等医療費などが増えて、前年度と比べ五億四千八百四十一万円（伸び率三四・三%）増加し、二十一億四千七百五十五万円になりました。

土木費は、一億二千六百十九万円（伸び率三・五%）増加し、三十七億二千七百十九万円になりました。これは街路用地、公園整備、道路新設・改良が増加したためです。

教育費は、四億九千九百五十万円（伸び率マイナス一四・六%）減り、二十九億三千二百五十八万円となりました。これは、今年度は小学校用地取得などがなかったためです。

公債費は、二億二千六百三十七万円（伸び率二八・一%）増加し、九億八千六百六万円になりました。これは、定期償還と、繰上償還がともに増加したためです。

特別会計

国民健康保険事業

(歳入)　(単位：万円)

款	収入済額	構成比
国民健康保険税	69,827	38.5%
国庫支出金	88,450	48.7
県支出金	935	0.5
財産収入	2	0.0
繰入金	14,000	7.7
繰越金	6,232	3.4
諸収入	2,148	1.2
計	181,594	100.0

(歳出)　(単位：万円)

款	支出済額	構成比
総務費	4,588	2.7%
保険給付費	159,219	94.4
老人保健拠出金	2,299	1.4
基金積立金	2	0.0
公債費	0	0.0
諸支出金	2,486	1.5
予備費	0	0.0
計	168,594	100.0

農業共済事業

(歳入)　(単位：万円)

款	収入済額	構成比
農作物共済勘定	5,526	69.2%
蚕繭共済勘定	34	0.4
家畜共済勘定	486	6.1
園芸施設共済勘定	368	4.6
業務勘定	1,576	19.7
計	7,990	100.0

(歳出)　(単位：万円)

款	支出済額	構成比
農作物共済勘定	5,000	69.0%
蚕繭共済勘定	27	0.4
家畜共済勘定	439	6.0
園芸施設共済勘定	209	2.9
業務勘定	1,575	21.7
計	7,250	100.0

老人保健

(歳入)　(単位：万円)

款	収入済額	構成比
支払基金交付金	5,441	67.7%
国庫支出金	1,359	16.9
県支出金	446	5.6
繰入金	786	9.8
計	8,032	100.0

(歳出)　(単位：万円)

款	支出済額	構成比
総務費	1	0.0%
医療諸費	8,935	100.0
予備費	0	0.0
計	8,936	100.0

下水道事業

(歳入)　(単位：万円)

款	収入済額	構成比
分担金及び負担金	3,772	2.8%
使用料及び手数料	5,045	3.8
国庫支出金	20,739	15.5
繰入金	53,509	40.0
繰越金	1,716	1.3
諸収入	184	0.2
市債	48,690	36.4
計	133,655	100.0

(歳出)　(単位：万円)

款	支出済額	構成比
総務費	17,500	13.2%
事業費	87,834	66.2
公債費	27,346	20.6
予備費	0	0.0
計	132,680	100.0

基金・市債・市有財産の状況

基金の状況

(58.9.30現在　単位：万円)

基金名	現在高	備考
財政調整基金	134,357	現金
奨学金基金	508	〃
土地開発基金	5,564	〃
〃	2,000	貸付金
〃	1,675.05㎡	土地
用品調達基金	217	現金
〃	77	売掛金
〃	82	買掛金
〃	3,682ℓ	ガソリン
〃	2,739ℓ	軽油
〃	6	自動車消耗品
公共施設整備基金	93,603	現金
まごころ基金	482	〃
国民健康保険財政調整基金	8,041	〃
国民年金印紙購入基金	2,955	〃
〃	5,245	印紙

※**まごころ基金**……篤志家より交通安全対策並びに市民福祉の向上などのためにと寄付がありましたが、その年にその意志にそった事業がない場合、翌年以降の事業に使うため「まごころ基金」として設けたものです。

市債の現在高

(単位：万円)

会計	区分	58.3.31 現在高	58.4.1～58.9.30 借入額	償還額	58.9.30 未償還額
一般会計	庁舎建設債	2,183		95	2,088
	社会福祉施設債	68,187	11,000	1,265	77,922
	児童福祉施設債	9,659		105	9,554
	地域改善対策事業債	27			27
	健康センター債	712		15	697
	農林水産債	1,546		102	1,444
	市道債	14,094	10,000	255	23,839
	都市計画債	109,898	31,930	1,191	140,637
	公営住宅債	114		18	96
	消防施設債	1,991			1,991
	教育施設債	506,711	23,750	6,161	524,300
	青少年会館用地債	760		190	570
	特例地方債	11,857		1,799	10,058
	計	727,739	76,680	11,196	793,223
特別会計	相模川流域下水道債	127,906	11,760	837	138,829
	公共下水道債	228,654	33,630	857	261,427
	計	356,560	45,390	1,694	400,256

行政財産

(58.9.30現在)(単位：㎡)

名称	土地面積	建物面積	備考
庁舎	7,747	4,998	
消防施設	7,762	1,882	
小学校	202,720	69,825	13校
中学校	88,014	31,096	5校
学校給食センター	6,313	2,107	2館
図書館	0	475	1館
市営住宅	27,755	4,333	143戸
児童館	4,085	2,580	12館
保育園	8,994	1,776	5園
総合福祉会館	4,505	1,676	1館
西部福祉館	2,095	540	1館
中部福祉館	0	157	1館
トラクター格納庫	0	140	1棟
ライスセンター	902	194	1所
公園	148,173	2,212	
国分寺史跡地	17,975	0	
ひさご塚	799	0	
一般廃棄物処理用地	10,625	0	
わかば作業所	1,043	197	1所
わかば学園	1,043	231	1園
健康センター	1,370	393	1館
美化センター	3,309	1,103	1所
文化会館	0	3,970	1館
公民館	0	1,570	1館
その他	18,765	437	
計	563,994	131,892	

普通財産

(58.9.30現在)(単位：㎡)

名称	土地面積	建物面積	備考
田	12,145	0	
畑	9,550	0	
宅地	19,551	0	
雑種地	3,200	0	
その他	112	0	
計	44,558	0	

58年度予算の執行状況

五十八年度当初予算は、一般会計と特別会計を合わせ、百八十九億四千七百七十六万円でしたが、その後の補正で九月三十日現在の予算額は、二百五億七千六百三十六万円となりました。

各会計別にみると、一般会計は当初予算額百四十九億四千八百万円に三回の補正で九億四千七百万円が追加され、百五十八億八千八百七十万円となりました。

特別会計は、農業共済事業が当初予算額三千八百四十八万円に一回の補正で四十三万円が追加され、三千八百九十一万円となりました。また、老人保健は当初予算額七億百十二万円に二回の補正で六億八千七百四十七万円が追加され、十三億八千八百五十九万円となりました。国民健康保険事業十八億六百四十九万円、下水道事業十四億五千三百六十七万円は、当初の通りで変更はありません。

九月三十日現在の各会計予算の執行状況は、表の通りです。なお、表中の当初予算額には、前年度から繰り越された事業費も含まれています。

特別会計

国民健康保険事業 (58.9.30現在　単位：万円)

＜歳入＞

款	予算現額A	収入済額B	執行率B/A(%)
国民健康保険税	73,760	35,878	48.6%
国庫支出金	96,568	36,487	37.8
県支出金	794	0	0.0
財産収入	2	2	100.0
繰入金	8,500	8,500	100.0
繰越金	300	5,000	1666.6
諸収入	723	373	51.4
計	180,649	86,240	47.7

＜歳出＞

款	予算現額A	支出済額B	執行率B/A(%)
総務費	4,944	2,347	47.5%
保険給付費	131,380	38,743	29.5
老人保健拠出金	43,453	16,910	38.9
基金積立金	2	2	100.0
公債費	0	0	0.0
諸支出金	155	140	90.3
予備費	715	0	0.0
計	180,649	58,142	32.2

農業共済事業 (58.9.30現在　単位：万円)

＜歳入＞

款	予算現額A	収入済額B	執行率B/A(%)
農作物共済勘定	963	769	79.9%
畜産共済勘定	63	9	14.3
家畜共済勘定	686	268	39.1
園芸施設共済勘定	667	260	39.0
事務勘定	1,512	886	58.6
計	3,891	2,192	56.3

＜歳出＞

款	予算現額A	支出済額B	執行率B/A(%)
農作物共済勘定	963	65	6.7%
畜産共済勘定	63	1	1.6
家畜共済勘定	686	156	22.7
園芸施設共済勘定	667	0	0.0
事務勘定	1,512	631	41.7
計	3,891	853	21.9

下水道事業 (58.9.30現在　単位：万円)

＜歳入＞

款	予算現額A	収入済額B	執行率B/A(%)
分担金及び負担金	4,210	4,274	101.5%
使用料及び手数料	6,634	4,475	67.5
国庫支出金	24,556	302	1.2
繰入金	55,907	31,798	56.9
繰越金	300	976	325.3
諸収入	50	2	4.0
市債	53,710	0	0.0
計	145,367	41,827	28.8

＜歳出＞

款	予算現額A	支出済額B	執行率B/A(%)
総務費	19,817	7,775	39.2%
事業費	93,579	7,334	7.8
公債費	31,871	14,901	46.8
予備費	100	0	0.0
計	145,367	30,010	20.6

老人保健 (58.9.30現在　単位：万円)

＜歳入＞

款	予算現額A	収入済額B	執行率B/A(%)
支払基金交付金	96,249	32,642	33.9%
国庫支出金	27,718	6,198	22.4
県支出金	6,790	1,367	20.1
繰入金	8,091	8,091	100.0
繰越金	10	0	0.0
諸収入	1	0	0.0
計	138,859	48,298	34.8

＜歳出＞

款	予算現額A	支出済額B	執行率B/A(%)
総務費	751	66	8.8%
医療諸費	136,163	49,602	36.4
諸支出金	341	1	0.3
予備費	700	0	0.0
前年度繰上充用金	904	904	100.0
計	138,859	50,573	36.4

一般会計

歳入予算の執行状況 (58.9.30現在　単位：万円)

款	当初予算額A	補正予算額B	予算現額A+B	収入済額C	執行率C/(A+B)(%)
市税	862,277	22,809	885,086	505,818	57.1%
地方譲与税	14,500	0	14,500	3,702	25.5
自動車取得税交付金	18,000	0	18,000	6,641	36.9
地方交付税	30,000	−25,000	5,000	0	0.0
交通安全対策特別交付金	700	0	700	475	67.9
分担金及び負担金	20,462	0	20,462	7,502	36.7
使用料及び手数料	10,025	0	10,025	4,910	49.0
国庫支出金	186,761	8,137	196,898	40,774	20.7
県支出金	40,923	103	41,026	6,619	16.1
財産収入	12,887	2,166	15,053	18,964	126.0
寄附金	0	220	220	220	100.0
繰入金	30,910	339	31,249	638	2.0
繰越金	10,000	80,525	90,525	90,525	100.0
諸収入	73,615	300	73,915	11,032	14.9
市債	181,740	31,770	213,510	0	0.0
計	1,494,800	121,369	1,616,169	697,820	43.2

歳出予算の執行状況 (58.9.30現在　単位：万円)

款	当初予算額A	補正予算額B	予算現額A+B	支出済額C	執行率C/(A+B)(%)
議会費	19,670	0	19,670	8,843	45.0%
総務費	169,877	4,443	174,320	91,169	52.3
民生費	184,205	4,334	188,539	95,855	50.8
衛生費	131,093	−6,903	124,190	65,663	52.9
労働費	7,749	0	7,749	7,087	91.5
農林水産業費	23,503	530	24,033	7,871	32.8
商工費	23,290	0	23,290	19,785	85.0
土木費	355,618	54,402	410,020	134,220	32.7
消防費	71,435	790	72,225	26,681	36.9
教育費	411,174	64,452	475,626	229,348	48.2
公債費	92,006	0	92,006	37,809	41.0
諸支出金	180	0	180	0	0.0
予備費	5,000	−679	4,321	0	0.0
計	1,494,800	121,369	1,616,169	724,331	44.8

市職員の給与の状況

海老名市の職員の給与の状況を市民のみなさんにお知らせします。

市の職員には、一般行政職員（事務職員、技術職員、技能職員、消防職員などいろいろな職種があります。そこで、ここでは主に一般行政職員の給与を中心にその概要をお知らせします。

(1)人件費の状況 （普通会計決算）

区分	住民基本台帳人口 58.3.31	歳出額A	人件費B	人件費率 B／A
57年度	85,659人	千円 13,928,149	千円 3,000,721	21.5%

※人件費には、特別職に支給される給料、報酬などを含んでいます。

(2)職員給与費の状況 （普通会計予算）

区分	職員	給与費					1人当たり
	数A	給料	職員手当	期末勤勉手当	計B		給与費B／A
58年度	人 662	千円 1,465,530	千円 410,514	千円 678,602	千円 2,554,646		千円 3,859

※1.職員手当とは、扶養・調整・管理職・住居・通勤・時間外勤務・特殊勤務などの手当です。
2.給与費は、当初予算に計上された額であり給与改善分としての1％を含んでいます。

(3)職員の平均給料月額と平均年齢の状況 (58.4.1現在)

区分	一般行政職	
	平均給料月額	平均年齢
海老名市	187,474円	32.5歳
国	208,297円	40.1歳

(4)職員の初任給の状況 (58.4.1現在)

区分		海老名市		国	
		決定初任給	採用2年経過日給料額	決定初任給	採用2年経過日給料額
一般行政職	大学卒	円 118,900	円 138,700	甲106,900円 乙101,900円	125,000円 112,600円
	高校卒	円 94,700	円 106,900	85,900円	91,500円

(5)職員の経験年数別、学歴別平均給料月額の状況 (58.4.1現在)

区分		経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
一般行政職	大学卒	186,300円	219,100円	245,600円
	高校卒	151,800円	186,300円	219,100円

※経験年数とは、卒業後直ちに採用され引き続き勤務している場合は、採用後の年数をいうものです。

(6)一般行政職の等級別職員数の状況 (58.4.1現在)

区分	1等級	2等級	3等級	4等級	5等級
標準的な職務内容	部長参事	課長・室長・主幹	係長主査	主事技師	主事補技師補
職員数	13人	40人	60人	227人	56人
構成比	3.3%	10.1%	15.2%	57.3%	14.1%

※1.給与条例に基づく給料表の等級区分による職員数です。
2.標準的な職務内容とは、それぞれの等級に該当する代表的な職名です。

(7)期末勤勉手当の支給割合 (58年)

区分	海老名市		国	
	期末	勤勉	期末	勤勉
3月期	0.5 月分		0.5月分	
6月期	1.59月分	0.5月分	1.4月分	0.5月分
12月期	2.25月分	0.6月分	1.9月分	0.6月分
計	4.34月分	1.1月分	3.8月分	1.1月分

(8)退職手当の支給率

支給率	海老名市		国	
	自己都合	勧奨	自己都合	勧奨
最高限度額	60.0000月分	75.0750月分	57.7500月分	65.2575月分
勤続20年	25.0000月分	34.3750月分	21.0000月分	29.6625月分
勤続30年	48.7500月分	64.3500月分	41.2500月分	55.9350月分
勤続35年	56.8750月分	75.0750月分	48.1250月分	65.2575月分
1人当たり平均支給額	182万円			

※1人当たり平均支給額は、前年度に退職した全職種に係る職員に支給された平均額です。

(9)特別職の報酬などの状況 (58.4.1現在)

区分		給料月額等
給料	市長	625,000円
	助役	500,000円
	収入役	467,000円
報酬	議長	350,000円
	副議長	290,000円
	議員	264,000円
期末手当	市長	(58年支給割合)
	助役	3月期 0.5月分
	収入役	6月期2.05月分
	議長	12月期2.8 月分
	副議長	計 5.35月分
	議員	

手作りのしめ飾り

民芸教室で小学生らが製作

新しい世代に、古き良き伝統工芸を伝える「民芸教室」が十二月十一日、柏谷児童館で開かれました。

会場には、小学生とそのお母さん方三十人が集まり、高齢者趣味の教室の講師も務める大貫年一さん（上河内、67歳）の指導を受けて、お正月のしめ飾りに挑戦。

ワラをよるのはこんなふうに

今回初めてワラ細工をする人も多く、なかには反対方向にワラをよる児童もいましたが、三時間後には、輪かざりが完成。「最初にしては良くできました」と大貫さんの寸評も上々でした。

「多少、ふぞろいで苦労したなだけ愛着を感じます。家に帰ったら、さっそくダイダイやユズリハをつけて飾りたい」と言うお母さんもいて、手づくりのしめ飾りで良いお正月を迎えられそうです。

善意のいずみ

市社会福祉協議会善意銀行に次のみなさんから寄付がありました。ありがとうございました。

（敬称略・順不同）

押田龍太郎（国分）…三万円、斉藤陽（柏ケ谷）…二千七百八十九円、田辺武司（上今泉一丁目）…五千円、明るい社会づくりをめざすさつきの会（北村貴作代表）…十二万八千四百九円、梅老名ライオンズクラブ（鴨志田昇代表）…二十五万円、大判焼山口や（山口テル子代表）…一万円とみかん一箱、柏ケ谷中学校PTA…五万円、協同組合まつり実行委員会（渡辺和子代表）…一万九千三百円、京柳流八千六百八十三円、市身体障害者伸生会（宝蔵大蔵代表）…五万円、市農協中河内生活班（尾上シズ代表）…おむつ三十枚、市米穀商組合（中山善代表）…二万九百六十円、中新田婦人団体（古谷キミ子代表）…おむつ二百枚、生活クラブ生協座間支部海老名地区（塩見純子代表）…一万三百円、バブレストラン銀盆（国分）…一万千五百三十八円、匿名四件…四万二千百五十九円。

12月価格情報

（単位：円）

品目	単位	大型店 平均価格	大型店 最多価格	中小店 平均価格	中小店 最多価格
しょう油	パック1ℓ	255(▲3)	268	265(▲5)	258
みそ	袋入1kg	335(0)	338	302(▲1)	298
砂糖	白1kg	270(▲5)	−	267(9)	258
マーガリン	パック225g	182(1)	−	178(▲11)	198
サラダ油	ボリ700g	312(▲34)	338	311(▲1)	338
マヨネーズ	ボリ500g	331(▲7)	338	333(1)	298
小麦粉	薄力粉1kg	206(18)	−	212(14)	208
牛乳	パック1ℓ	196(5)	198	206(7)	−
鶏卵	M 10個	218(0)	208	203(▲20)	200
かまぼこ	160g	143(▲3)	148	146(▲2)	150
即席ラーメン	100g	72(−10)	72	72(8)	72
有リン合成洗剤	箱2.65kg	910(0)	910	935(45)	−
無リン合成洗剤	箱2.65kg	910(▲10)	910	888(▲42)	910
粉石けん	袋3kg	838(▲3)	850	764(▲44)	795
灯油	配達18ℓ	−(−)	−	1436(▲362)	1530

価格は、市消費生活モニター30人の協力を得て12月初めに調査した通常平均価格です。（　）内は前年同月比で▲は安。

消費者の声　消費者にとって、安売りは有難いのですが、こういう時こそ品物をよく見て、むだな買い物をしないようにしたい。

今月のプロフィル

優勝しちゃった！

ハワイ・ホノルルマラソン「七～十二歳の部」に出場

仲村真哉（なかむらまさや）くん

ハワイ・ホノルルマラソンは、ニューヨーク、ボストンと並ぶアメリカ三大マラソンのひとつである。

ハワイで体験した初めての四十二・一九五㌔のフルマラソンで走ることへのより深い自信と将来へのより大きな希望を小さな胸に刻み込んだ。

現在、市立杉久保小学校の六年生。

「学校で毎年冬になるとロードレースをやりますが、一年生の時に四十二位と遅かったので、練習を始めたら、だんだんと力がついてきて…」

二年生で七位、三・四年生で連続一位、五年生ではコースの誤りもあって二位となったが、六年生の今回は再び一位。このロードレースで走ることに目覚めた。

父親の進さん（四十六歳）は休日にはよく息子のジョギングにつき合う。

「最初は一緒に走っていたんですが、四年生になったころからこの子に追いつけなくなりましてね。今ではオートバイで伴走してます。ホノルルマラソンに出る前は五千㍍平均タイム十八分五十秒で、最長三十㌔走らせたことがありましたが、呼吸がまったく乱れなかったので少なくとも持久走に向いた体質であることが分かりました」

進さんは、タンカーの船長をしており、外国を訪問する機会も多く、たまたま現地で買った雑誌にホノルルマラソンのことが載っており、「七～十二歳の部」でぜひとも真哉君の実力を試させてみたい、と思った。

夢は「第2の瀬古」

「三十七㌔ぐらいから四十㌔ぐらいのところがとても苦しかったあるマラソン少年が同じレースに出場していることを思い出して絶対負けられない、とがんばりました」

結果は「七～十二歳の部」で優勝。約五十人の部門参加者を制したタイムは三時間四十三分四十一秒七だった。

「優勝記念にトロフィーと貝のレイとTシャツをもらったけどもっとうれしかったのは、世界記録保持者のサラザール選手からTシャツと帽子にサインをもらったことです」

十二月十一日（日曜日、現地時間）は最高の日となった。

趣味はガンダムなどロボット、プラモデルを作ること。テレビは野球やマラソンなどのスポーツ番組しか見ない。

将来はやはりマラソンの選手として大きな大会へも出場できるようになりたいと言う。第二の瀬古、サラザールを目指す。

父母と中学生の姉、小学校五年生の弟と五人家族。

身長百四十㌢、体重二十九㌔と小柄だが、胸に秘めた希望と闘志はだれよりも大きい。

市内で、全国で、そして世界で一番速いマラソンランナーになって欲しい十二歳である。

国分寺台五丁目在住。

情報コーナー

市役所　ところ　〒243-04 海老名市国分155　もしもし　31・2111（代）

催しもの

◆成人学級「郷土"海老名"を探る」

1月26日～3月15日の間の毎週木曜日午前10時～正午、市立中央公民館　▷講師・内容＝郷土史研究家　池田武治さん（①郷土の移り変わり⑥⑦⑧とも海老名地名考－郷名の起源・大字・小字地名など－、文化財保護委員　篠崎信さん（②海老名の石仏）、文化財保護委員　池田正一郎さん（③徳川時代の農村・徳川時代の国分村④海老名の歴史上の人物⑤近世における災害の記録）…番号は講義順…　▷対象・人員＝市内在住在勤の成人45人　▷申し込み＝電話で社会教育課。先着順。

◆外国人から見た日本の子供の教育

―海西中学校区青健連・講演会―

1月21日（土）午後1時半から、市立中央公民館（☎32・3231）　▷講師＝オーストリア観光局東京事務所長　ゲルハルト・リンツビビラさん　▷主催＝海西中学校区青少年健全育成連絡協議会、海老名青年会議所　▷申し込み＝当日、直接会場へ。先着300人　▷問い合わせ＝一の関明（☎32・0077）、または山田嘉茂（☎31・2855）。

◆第11回市親善バスケットボール大会

2月12・19・26日、いずれも日曜日午前9時から、市内小中学校体育館（予定）▷競技方法＝トーナメント方式　▷資格＝市内在住・在勤者によって構成されたチーム　▷費用＝参加料1チーム3,000円　▷主催＝市バスケットボール協会　▷申し込み＝1月31日（火）までに、電話または直接に市役所資産税課　高山まで。

◆青空市は1月15日

1月15日（日）午前8時ごろから、市役所　▷豚汁サービスあり　▷主な出品物＝白菜、ダイコン、長ネギ、キャベツ、サトイモ、ニンジン、ジャガイモ、イチゴ、鶏卵、鉢物など。

◆園芸教室

1月21日（土）午前9時半～11時半、厚木労働センター　▷内容＝梅盆栽の春・夏の管理　▷講師＝盆栽研究家　山口正雄さん　▷人員＝50人先着順　▷申し込み＝電話で厚木労働センター（☎23・6211）。

県立海老名青少年会館 ☎31・9787

申し込み・問い合わせは、必ず県立海老名青少年会館へ。毎週月曜休館日。

○開館8周年記念「はつはる祭」

①オープニングコンサート　1月22日（日）午後2時～4時、会館利用者による音楽会

②作品展・パネル展　1月24日～29日、会館利用者によるもの

③ダンスパーティー　1月26日（木）午後6時半～9時

④こどもサッカー試合、こども剣道試合、こどもテニス教室　1月28日（土）午後1時～5時

⑤模擬店、バザー、活動発表　1月29日（日）午前9時～午後5時

▷いずれも入場自由。内容については、会館へ問い合わせを。

○青少年書道クラブ

1月19日～3月29日の間の毎週木曜日、午後6時半～8時半　▷内容＝毛筆の手ほどき　▷対象・人員＝高校生以上の青少年20人　▷申し込み制

募集

◆市立保育園の4月入所児童

▷募集保育園＝柏ケ谷保育園…東柏ケ谷2－14－6、門沢橋保育園…門沢橋770、下今泉保育園…下今泉487、中新田保育園…中新田1122－1、勝瀬保育園…勝瀬67　▷入園資格＝次のいずれかの理由で、学齢前の児童が保育に欠ける場合（家庭内で母親以外に児童の保育ができる人がいる場合を除く）①母親のいない家庭②母親が家庭内外で働いている③その他　▷受付期間・場所＝1月25日～28日、午前9時～11時半と午後1時～4時（28日は正午まで）市役所第2会議室　▷申し込み＝事前に福祉課に用意してある必要書類を準備し、当日は児童をつれて申し込む　▷問い合わせ＝福祉課（5月以降の入所児童受付も同課で）。

◆市職員

▷職種・採用人員＝①消防職初級…若干名、②保健婦…1人　▷受験資格＝①消防職初級…昭和33年4月2日以降に生まれた方で高卒以上（今年3月卒業見込みを含む）の学歴を有し、健康で体力に自信のある方②保健婦…昭和24年4月2日以降に生まれた方で、保健婦の資格を有する方か、今年3月までに保健婦の資格を取得できる見込みの方　▷試験日・場所＝2月14日（火）午前9時から、市役所　▷申し込み書配布期間・場所＝1月17日～2月7日、管理課　▷受付日＝2月6日（月）・7日（火）　▷申し込み＝本人が直接に管理課。

◆「歩こう会」会員

市レクリエーション協会では「歩こう会」を発足させる準備をしています。あなたも歩きながら自然に親しみ健康な体を保つ「歩こう会」に入会してみませんか。

▷申し込み・問い合わせは、社会教育課。

――2面へ続く――

3連覇を狙う雪印

1月8日、第13回 市駅伝競走大会

有鹿小学校前をスタートし、市西部及び南部地区を回って市役所にゴールする「第十三回市駅伝競争大会」が一月八日に行われます。

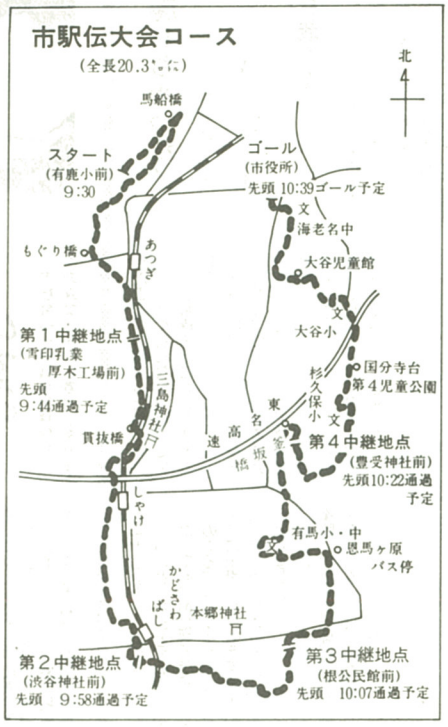
この大会は、昭和四十七年に市体育協会が長距離ランナーの育成と陸上愛好者のために始めたものです。第一回から第九回までは、国分寺台付近の一周五千㍍のコースを五周するものでしたが、第十回から交通の激しくない市西部及び南部地区を回るコースに変え、下図のコースになったのは、去年からです。

第一回大会に参加したのは、十九チームでその後年々参加チームが増え、去年は四十九チームが参加しました。最近のジョギングブームもあって、女子の参加者が多くなったため、今大会から女子対抗の部を設け、自治会対抗、事業所対抗、中学校対抗と四部門になります。

第十一回、十二回と事業所の部で二年連続優勝している雪印チームの重田啓介監督は「去年優勝したメンバーがほとんど残っていますので、三連覇を狙います」と意欲を燃やしています。また、各チームとも雪印三連覇を阻止しようと練習をしています。

コース沿道のみなさんを始め市民のみなさんの声援をお願いします。各区間の距離は、次の通り。

▽第一区間＝四千四百㍍▽第二区間＝四千百㍍▽第三区間＝二千六百㍍▽第四区間＝四千二百㍍▽第五区間＝五千㍍



1月7日 あなたも参加を

親子ジャンボかるた大会

小星上

"今泉 古墳群ある 秋葉山"

海老名郷土かるたのジャンボ版を校庭に並べ、親子一緒に取り合う「親子ジャンボかるた大会」が、一月七日（土）午後一時から上星小学校校庭で行われます。（雨天のときは八日）

かるたは、いろはがるた型式で四十七枚、大きさはベニヤ板の約半分。相模国分寺や清水寺の千手観音立像など市内の有名な史跡や文化財はほとんど詠まれており、これを市長や市議会議長などが読み、親子が手をつないで走って探します。

かるたを取る競技方法は四種類。寒風の中を親子が一緒に汗をかく姿は、ほほえましいものです。みなさんのご観覧をお願いします。なお、参加申し込みは、十二月二十七日に締め切りましたが、当日の申し込みも受け付けます。問い合わせは、社会教育課。

私たちが先よ（大谷小で）

1月14日、文化会館 市民の安全を

消防出初め式

一月十四日午前九時半から市文化会館前の市民広場で、新春恒例の「消防出初め式」が行われます。市民のみなさんのご観覧をお願いします。（小雨、小雪決行）

消防出初め式は、市内の全分団員十五個分団二百二十八人と市消防署員八十三人が一堂に集まって、今年一年間、火災などから市民を守ろうと誓い合うものです。また、この式で永年消防団員として尽くされてきた方の表彰と去年、早期発見・初期消火で消防に協力された方の表彰を行います。

式後、会場を小田急グラウンドに移し、現在の市の消防力を公開する演技披露も行います。なお、当日午前七時に市内消防施設のサイレンを一斉に鳴らしますので火災と間違えないようにご注意ください。

1月15日、文化会館 いい日旅立ち

成人式に1162人

一月十五日午前十時から市文化会館で新成人の手による成人式が行われます。今年の新成人者は、昭和三十八年四月二日から昭和三十九年四月一日までの間に生まれた方で、男六百四十人、女五百二十二人の計千百六十二人です。

当日は、四人の成人代表のことばの後、「いい日旅立ち」を全員で歌い、万歳三唱の後、閉式します。また今回は、下今泉はやし保存会（伊波徳治会長、会員60人）によるはやしの演奏があります。

対象者にはハガキでお知らせをしましたが、届いていない場合は、社会教育課までご連絡ください。

なお、当日の服装は華美にならないようにして出席してください。

フォトピックス

お別れ作品展

CSR美術クラブが開く

「先生と一緒に作品展ができて感激」と喜んでいるのは、CSR美術クラブ（浅岡タケ子代表、会員十二人）、十二月十三日から十八日までニチイ海老名店文化ホールで「梶原桂子先生とCSR美術クラブ作品展」を開きました。

同クラブは、一昨年の四月に発足した障害者とボランティアが一緒に絵を勉強する会。指導をする梶原桂子さんにも聴覚障害者で、月二回市立総合福祉会館で勉強会を開いていました。

ところが梶原さんがご主人の仕事の都合で九月に当地を去ることになり、会員たちがお別れに先生と一緒に作品展を開こうと今回の催しを企画しました。

出品者は梶原さんを入れて十二人。画題は静物画が多く、油絵二十五点、水彩画二点。「たまねぎ達」「夏の野菜」「静物」の三点を出品した山田幸子さん（綾瀬市、49歳）は「絵筆を持つのは、生まれて初めて。最初はどういうふうに描いていいのかわかりませんでした。私の作品が展示されているのを見て感激しています。これも梶原先生や車で送り迎えをしてくれるボランティアのみなさんのお陰です」と話していました。

また、この作品展のために帰ってきて、生徒たちの作品を見た梶原さんは「みんな一生懸命描いているのに感激しました。自分の気持ちを表わすようにと指導しましたが、みなさん素晴らしいできです」と話していました。

先生と一緒の作品展

海老名むかしばなし

第82話 伊勢参りの話

私の家に「旅行証」と書かれた古い公文書が残っている。達筆で書かれたこの文書を読み下し文にすると次のようである。

「旅行証

神奈川県下相模国高座郡
杉久保村第六十四番地平民農
小沢藤左衛門長男
小沢角治郎
年齢二十六歳

右の者儀、成願に付き伊勢両大神宮へ参詣（けい）致したき旨申し出候に付き、届けを受け候。もっとも、本人旅行中、病気または何様の災害これあり候節は、相応の御扶助これありたく候。この段、ご依頼に及び候なり。

同国同郡同村
戸長　高橋義治
明治十五年二月五日
沿道駅町村　戸長御中」

この小沢角治郎（昭和十六年没）は、私の父で、年齢は数えで書かれているから、この時満二十五歳。明治十五年、農業もようやく暇ができた二月、夢に見た伊勢参りに出発したのである。

私が幼いころ、父はこの伊勢参りの話をよく語ってくれたものである。

昔の人々は一生に一度は伊勢参りをしたいと考えていたようで、すでに行ってきた者はそれを誇りにもしていた。私の父もそのための旅費を貯蓄する目的で二十～三十歳位までの気の合った若者同士十五人ほどで伊勢講をつくり毎月掛け金をして三年ほどで予定の金額に達した。

当時は徒歩で往復約一か月かかったので、農閑期を選んで出発日を決めた。旅装は、袷（あわせ）半天、脚半にわらじ、菅笠（すげがさ）に着ござ、それに寒い時期なので赤毛唐（あかげっとう＝毛布のようなもの）を持った。この赤毛唐は伊勢神宮では「関東の赤毛唐」と呼ばれ、関東からの参拝者だけが持っている物として知られていた。

出発の当日は赤飯を炊いて隣り近所に配り、留守にするあいさつを兼ねた。それから氏神様（豊受神社）に参拝して神主に旅の安全祈願をしてもらった。

それが終ると、村中の人々が村境まで送ってくれる。村境まで来ると村人たちは全員歓呼の声で長い旅に出る若者たちを送った。

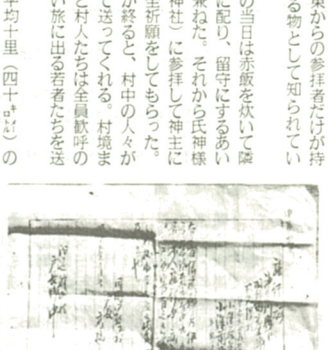
一日平均十里（四十㌔㍍）の道を歩いたそうだが、最初の日は小田原で一泊。次の日は難所の箱根越えをして三島で泊まった。宿をあらかじめ予約してあるわけではないので十五人ほどの同行者のうち、二人位が早足で先行して宿を見つけ、その店先に自分たちの菅笠を立てかけておく。そうすると、笠には名前が書いてあるから後から来る者たちが宿を見つけることができるのである。こうして東海道を西へ旅を続けて行った。

また、道中、ゴマのハエ（スリのこと）が後になり先になりしてまとわりつき、常に懐中物を盗まれる心配があって困ったという。

さて、十四、五日で伊勢神宮に着き、参拝を済ませ、みやげ物などを買うと、この旅の目的の大半は達せられたことになる。後は帰るだけだが、途中の伊勢の古市（ふるいち）、駿河の二丁町に遊郭があってここで骨休めをした人もかなりいたようである。

こうして一か月余りの旅を終えて帰郷すると、再び神主に無事祈願を済ませてきた旨の祝詞を奏上してもらい、その足で近所に留守中のお礼をしてから自宅へ帰ってわらじを脱ぎ、無事を喜んだという。

（小沢重吉氏＝杉久保＝から寄稿されたもの。なお、「旅行証」の文書解読に篠崎信氏＝国分＝のご協力を得ました）


明治十五年の旅行証